

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
4	部落解放運動を中心に、大正時代の社会運動の内容を詳しく調べることを通して、運動を起こしたのは政治や経済の中で自由や平等を奪われていた人であったことと、身分解放令以降も強い部落差別が続いていたことがわかる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の社会運動はどのような動きだったのだろう。</div> </li> <li>部落解放運動、護憲運動、労働運動・農民運動、婦人運動について調べ、交流する。  『部落解放運動』 『護憲運動』  ・被差別部落の人々が差別からの解放をめざした運動。  『労働運動・農民運動』 『婦人運動』  ・労働者の団結と解放をめざした運動。  ・小作料の減免を要求する運動。  ・普通選挙権を求めた運動。  ・女性解放や婦人参政権を求める運動。 </li> <li>本時の学習についての思いをまとめる。</li> </ol>	エ - 社会運動の動きについて、その知識を身につけている。	ノートの記述 社会運動の動きについて、理解しているかを分析する。	「水平社宣言」 「議事堂をとりまく民衆」 「有権者の増加」 「第一回メーデー」 「労働争議に加盟した労働者の数」 「農民組合の大会宣言」 「青鞞社の宣言」 （以上、教科書）  各資料の情報を整理し、事実認識を援助する。
		日本でも、政治や経済の中で自由や平等を奪われていた民衆が、自分たちの生活の向上や権利の獲得をめざして立ち上がっていったのだな。これによって人々の願いを取り入れた政治が行われる道が開かれていったようだけど、ずいぶん難しそうだな。身分解放令以降も強い部落差別が続いていたことには驚いた。部落解放運動は、どのように進められたのだろう。詳しく調べていきたい。			
5	全国水平社を立ち上げた西光万吉についてのビデオを視聴することを通して、差別から逃げてきた西光が、自分が被差別部落民であることを公にして全国水平社を立ち上げていったことがわかる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>西光万吉の概要を知り、本時の学習課題を設定する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">西光万吉は、どのようにして全国水平社を立ち上げていったのだろう。</div> </li> <li>西光万吉についてのビデオを視聴する。  郷里で部落差別を受けた西光は、東京に出たが、「奈良には新平民が多い」という話を聞き、ショックを受ける。その後、郷里に戻った西光は被差別部落民であることに負い目を感じながら生活していた。そんな中、部落出身者という理由で離縁された女性が子供とともに自殺した。自分たちが立ち上がらねば何も変わらないという思いから全国水平社を立ち上げていった。 </li> <li>ビデオを視聴しての感想を書き、本時のまとめを行う。</li> </ol>	ア - 全国水平社を立ち上げた西光万吉の生き方や考え方について関心を高めようとしている。	ノートの記述 ビデオを視聴しての感想が西光万吉の生き方や考え方から記述されているかを分析する。	「三月三日の風 全国水平社誕生物語」  西光の生き方や考え方に注目してビデオを視聴することを指導する。
		身分解放令によって法律上は差別がなくなったが、実際には根強く残っていたのだな。部落出身というだけで離婚されるのはひどい。差別に対してどうすることもできずにただ泣いて耐えていたり自殺したりするしかないなんて。その中で、なぜ西光は水平社を立ち上げようとしたのだろう。はじめは差別から逃れようとしていた彼が、立ち上がった理由を調べていきたい。			
6	差別から逃げていた西光が、全国水平社を立ち上げた理由を、資料をもとに調べることを通して、差別解消だけでなく、人権尊重の立場から全国水平社を立ち上げた西光の願いを理解するとともに、自分たちの生活の向上をめざして立ち上がった人々の考え方を単元のまとめをすることができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>ビデオを視聴しての感想を交流し、本時の学習課題を設定する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうして西光は、自分が部落出身であることを語り、全国水平社を立ち上げたのだろうか。</div> </li> <li>資料や前時で視聴したビデオをもとに、課題についての考えをまとめ、交流する。  ・民衆が立ち上がった時代で、差別をなくすために行動できるときだと考えたから。  ・差別の解消には、政治や他人の力を借りるのではなく、自分たちが行動することが必要だと考えたから。  ・差別から逃げるばかり考えていた自分に後悔していたから。  ・被差別部落民の解放だけでなく「すべての人間」のことを考えていたから。 </li> <li>本時の学習についての思いをまとめる。</li> </ol>	ア - 全国水平社を立ち上げた西光の「共に生きる」という生き方に共感している。	ノートの記述 西光の「共に生きる」という生き方に共感しているかを分析する。	「西光万吉と水平社年表」 「水平社宣言」 「農民運動に移る西光万吉」 「西光の言葉」  本時までの学習を振り返り、民衆の願いについての思いを述べることを指導する。
		被差別部落民に対する許せない差別が続いていた。その中で、自分への差別の恐怖を乗り越え立ち上がった西光は、被差別部落民に対する差別の解消のみならず、人権尊重の立場から人々の生活の向上や権利の獲得を求めていったのだ。			

